

実質化した人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
最上町	下白川	令和5年3月29日	令和4年3月25日

1 対象地区の現状(令和2年度アンケート結果より)

①地区内の耕地面積	51.3ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	41.2ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	20.8ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	6.4ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	3.5ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	15.6ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<p>○70歳以上農業者の3割が後継者未定であり、5年～10年後には地域内の農業者で70歳以上かつ後継者がいない農家が増える見込みである。</p> <p>○早期の担い手への集約や、新たな農地の受け手の確保が必要となってくる。</p> <p>○後継者や担い手への集約を円滑に進めていくためには、現状の農地の形状や大きさでは困難と考えている。</p>

注:「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>○水稻を中心として、農地引き受け可能な中心経営体への積極的な集約を図っていく。</p>
--

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

<p>農地の貸付け等の意向 貸付け等の意向が確認された農業者は5名。農地面積は2.1haとなっている。</p>
<p>農地中間管理機構の活用方針 農業をリタイア・経営転換する人は、農地中間管理機構への貸付を検討する。</p>
<p>基盤整備への取組方針 農地を後継者に引き継いでいくため、圃場条件の改善を目的に取り組みを検討している。令和4年度は調査事業に向けて、組織立ち上げと事業申請を行った。</p>
<p>新規・特産化作物の導入方針 基盤整備の検討を軸に、米、そば等の土地利用型作物以外に、アスパラガスなどの高収益作物の導入を検討していく。</p>
<p>鳥獣被害防止対策の取組方針 町農林振興課農林振興室森林整備担当と情報共有しながら、随時、適切な対策に取り組む。</p>
<p>災害対策への取組方針 水害、寒乾害、高温害等の被害防止のため、情報収集に努める。</p>

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向			備考 (中心経営体として位置付けられているその他の主な地区)
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	経営範囲	
計	12経営体		25 ha		40.6 ha		